ＪＲ東海労ニュース

№２５７８
２０２１年３月４日
ＪＲ東海労働組合

２０２１ＪＲ総連春闘勝利！　シリーズ⑫

JR東日本、役員報酬返上継続！業績連動型の役員報酬も支給しない！さて、JR東海は！

マスコミは「ＪＲ東日本会社は、新型コロナウイルス感染症の流行により会社の業績が大幅に悪化しており、役員報酬の自主返上を継続する」と報道しました。対象は、会長や社長など合計５３人で、業績が改善するまで続けるようです。更に、業績連動型の役員報酬も支給しないとのことです。減額率は、役員報酬から２０％が会長、社長、副社長で、それ以外は１０％のです。これを１年間継続した場合は、業績連動の報酬カットと合わせると全体で３０～４５％の減額になる見込みです。

さて、ＪＲ東海は４月まで役員報酬の１０％を自主返納すると発表しましたが、会長、社長であってもたがか１０％です。その一方、現場で働く社員は、昨年末の期末手当は、安定的支給ベースと言っていた２．９ヶ月を０．７ヶ月も下回る、２．２ヶ月の支給でした。今まで会社の業績が良かった時は、「赤字になったら支給を下げても良いのか」と主張し、社員に利益を配分せずに出し渋り、赤字を計上した途端に「安定的支給ベースは黒字のときだけだ」と開き直りました。

今、現場で働く社員は、非常に厳しい状況にあり、生活設計の見直しをしている状況です。ＪＲ東海役員は自分の利益が第一で、社員を見捨てているのです。

今春闘では、役員の利益中心主義を許さず、ベアと夏季手当の満額獲得のために、職場から声を出して共に闘いましょう。